

新 規事業

◎名張躍進プロジェクト事業枠の対象事業を「躍進枠」、地域ビジョン推進枠を「地域枠」と表記しています。

●「家庭的保育」(保育ママ)の実施 **躍進枠**

1,212万円 [家庭的保育事業]

保育所(園)の待機児童解消に向けて、3歳未満の乳幼児を保育士の自宅などで保育します。



●子ども・子育て支援事業計画の推進 **躍進枠**

204万円 [子ども・子育て支援事業計画推進費]

国の新制度に即した「子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料となるアンケート調査と審議組織の設置を行います。

●「ファミリーホーム」の設置促進 **躍進枠**

159万円 [ファミリーホーム設置促進事業]

虐待などの理由で親と暮らせない子どもを、家庭的な環境で育てる「ファミリーホーム」の設置を促進します。

●骨髄移植の推進 **躍進枠**

21万円 [骨髄移植ドナー支援事業]

骨髄移植のドナー(提供者)と雇用する事業所に対して助成します。

●生活保護受給者などの自立を支援

2,453万円 [自立支援プログラム策定実施事業]

生活保護受給者や経済的困窮者に対する就労支援体制を整備します。また、生活保護児童に学習支援を行います。

●地元産の食材を市内外に情報発信 **躍進枠**

20万円 [「なばり発見!食のまち宣言」推進事業]

農家と地元産の食材を取り扱う小売店や食品製造者などによる「なばり発見!食のまち宣言」を契機に、地元産の食材を市内外に情報発信します。



●伊賀流忍者を国内外に情報発信 **躍進枠**

130万円 [世界に誇る伊賀流忍者活用事業]

県や伊賀市と連携し、「伊賀流忍者」を国内外へ情報発信します。

●消防救急無線のデジタル化

569万円 [消防救急無線デジタル化活動波整備事業]

25年度から3年間の計画で、消防救急無線をデジタル化します。

●市制60周年記念事業

200万円 [市制60周年記念事業]

市民手づくりの市制施行60周年記念事業を行います。

●地域ビジョンの推進 **地域枠**

3,000万円 [地域ビジョン推進事業]

市内15地域における将来のまちづくり構想である「地域ビジョン」の実現に向けて、地域づくり組織が市との協働により展開する「ゆめづくり協働事業」に対する交付金です。

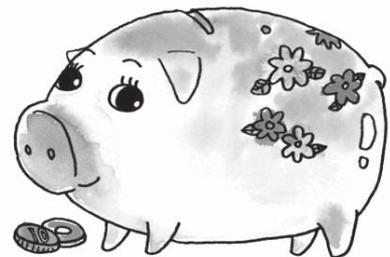
平成25年度予算

財政経営室 63・7403

平成25年度当初予算案が、3月の定例市議会で可決されました。一般会計の当初予算額は、238億4700万円。25年度は、これまでの行財政改革の総仕上げを行い、名張躍進に向かうための土台固めの年と位置付け、子ども・子育て支援、健康増進、名張ブランドの創出などの事業に予算を重点配分。また、地域ビジョンの実現に向け、地域の取組みに対する支援を強化するなど、限られた財源の中、メリハリのある予算としました。

一般会計238億4700万円

前年度当初比8.5%減



25年度予算の特色

歳入に見合った歳出規模への転換を図る「施策別枠配分方式」の導入と名張躍進に向けた特別枠の設定

限られた財源で最大限の効果をおよぼすためには、徹底した事業の「選択と集中」や「スクラップ・アンド・ビルド」(効果の薄れた事業の廃止と真に必要な事業の創設)を行っていく必要があります。そこで、平成25年度予算では、新たな予算編成手法として、行政評価結果を踏まえながら、限られた財源を配分する「施策別枠配分方式」を導入しました。施策ごとにあらかじめ予算を割り当てるといった手法で、これまでの各担当部署の予算要求を査定して配分を決定する「個別査定方式」からの転換を図りました。これにより、事業を実施する部局の

判断や工夫により、歳入に見合った予算配分ができるようになりました。また、「名張躍進プロジェクト事業枠」と「地域ビジョン推進枠」を予算配分特別枠として設定。メリハリのある予算編成につなげました。「名張躍進プロジェクト事業枠」として、「なばり」子ども・子育て支援「健康なばり」推進「なばり」ブランド創出の各項目にかかわる事業に予算を重点配分。さらに、市内15地域の「地域ビジョン」実現を支援するための「地域ビジョン推進枠」を新設し、名張躍進に向けて取り組んでいきます。